

- 頭隠して尻隠さず  
 雨降って地固まる  
 案ずるより産むが易し  
 石の上にも三年  
 石橋をたたいて渡る  
 急がば回れ  
 一寸の虫にも五分の魂  
 犬も歩けば棒にあたる  
 井の中の蛙 大海を知らず  
 魚心あれば水心  
 馬の耳に念仏  
 海老で鯛を釣る  
 鬼に金棒  
 鬼の居ぬ間に洗濯  
 鬼の目にも涙  
 溺れる者は藁をも掴む  
 火中の栗を拾う  
 河童の川流れ  
 果報は寝て待て  
 聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥  
 九死に一生を得る  
 木を見て森を見ず  
 弘法筆を選ばず  
 転ばぬ先の杖  
 山椒は小粒でもぴりりと辛い
- 三人寄れば文殊の知恵  
 雀百まで踊り忘れず  
 捨てる神あれば拾う神あり  
 棚からぼた餅  
 塵も積もれば山となる  
 灯台もと暗し  
 捕らぬ狸の皮算用  
 飛んで火に入る夏の虫  
 泣きつ面に蜂  
 七転び八起き  
 二階から目薬  
 二兎を追う者は一兎をも得ず  
 猫に小判  
 寝耳に水  
 能ある鷹は爪を隠す  
 花より団子  
 早起きは三文の得  
 人のふり見て我がふり直せ  
 百聞は一見にしかず  
 蛇に睨まれた蛙  
 仏の顔も三度  
 時かぬ種は生えぬ  
 馬子にも衣装  
 三つ子の魂 百まで  
 焼け石に水